

事務事業名		林道災害復旧事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		林務課		H27係等名	森林保全係		H26係等名	森林保全係		
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	41	災害対策の推進						
目的	対象(誰・何を)	林道施設の災害箇所				対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	現状へ復帰する					箇所数(箇所)		66	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	復旧率% H26は60箇所+6箇所(材料支給) 66/66=1.00			100	100	100	100		
	定性目標									
事業概要	台風や豪雨災害で被災した林道を復旧する。 <参考>細々目名:林道単独災害復旧事業費									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	異常気象等により発生した、国庫補助対象にならない林道施設災害を現状に復旧する。 全48路線対象									
	1 (25→26繰越明許)単独災害復旧工事				1 箇所数			1 22箇所		
	2 単独災害復旧工事				2 箇所数			2 38箇所		
3 材料支給				3 箇所数			3 6箇所			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		25,518	31,806	31,744	1,300	(地)災害復旧(充当率65%) (そ)繰越金 25→26繰越明許費 10,846千円				
国庫支出金										
県支出金										
起債		1,800	2,500	2,500						
その他				10,045						
一般財源		23,718	29,306	19,199	1,300					
人件費計(千円)②		608		608						
正規職員所要時間		170		170						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		26,126	31,806	32,352	1,300					
事業内容・目標達成状況の振り返り	災害を復旧することにより、市民生活の安全を確保することが出来た。									
改革改善の考え方	①問題点	市民生活を守るため、災害が発生した場合、通行車両及び歩行者の安全確保が必要であること、また復旧することにより森林整備の推進や木材搬出経費削減を図れ、森林の公益的機能発揮に寄与するため、改革改善が難しい								
	②改革提案	工法検討や効率的な事業実施により、コスト削減を図る								